

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
866	交通安全施設維持修繕経費	01	一般会計		
		08	土木費		
基本施策	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	02	道路橋りょう費	
			06	交通安全施設整備事業費	
担当部課名	伊賀産業建設課		101	交通安全施設維持修繕経費	
作成者氏名	高島幸生	連絡先	45-9119	01	交通安全施設維持修繕経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	管内の市道の利用者	成果(どうなるのか)	路面表示や道路反射鏡の設置により、通行時の路面状況の把握や見通しの改善による安全確認の精度を向上させる。
	本年度事業内容	道路の安全で円滑な交通を確保するため、路面表示や道路反射鏡や防護柵等の維持修繕を行う。 新設 L=63.5m ガードレール補修 L=16.0m カーブミラー新設 3基 カーブミラー取替 2基 区画線 L=171.0m 等		
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:)		根拠法令・要綱等	道路法、交通安全施設等整備事業の推進に関する法律
市内の類似施設				

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	1,951	1,381	1,500
	工事請負費	1,314	968	1,000
	需用費	637	413	500
	その他			
合計(A+B)		5,551	4,981	5,100
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担 その他特財			
一般財源		5,551	4,981	5,100
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
ガードレール設置延長(補修を含む)	m	79.5	60	60			
道路反射鏡設置数(取替含む)	基	5	5	5			
区画線設置延長	m	171	100	100			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
道路反射鏡の設置数、立替数を含めた延べ件数	道路反射鏡の設置数及び取替数が交通安全及び事故防止の指標となる。	基	5 目標 (5)	5	5
防護柵(ガードレール)設置延長	防護柵(ガードレール)設置が車両の路外飛出しや交通弱者の保護に繋がるなど交通安全の指標となる。	m	79.5 目標 (60)	60	60

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

伊賀支所管内における市道の供用延長は241.8kmで、うち改良済み延長は75.8kmとなっていることから、まだ幅員狭小の区間と交差点が多く存在するため、安全確認が十分にできないので非常に危険であるとの指摘も受けているところです。また、山間地に位置する地形条件から市道と市道に面する土地との高低差がある区間も多く、防護柵の設置も非常に有効な安全施設となっており、今後も安全・安心の交通網整備として実施していく必要があります。

評価	必要性	4	防護柵や道路反射鏡は、年々増設を行っているなか、破損箇所や老朽化による立替・鏡面の取替も必要であり、継続して実施していくうえでも事業費の確保が不可欠です。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	3		
	効率性	3		